

| | | | | | | | | |
|-------------------------|---|---------|--|--|--------------|------------|-------------------|------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 病弱教育 I (2 単位) | | 3. 科目番号 | SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350 | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 工藤 傑史 | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 | 5. 開講学期 | 春期 | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 病弱教育 II の前に履修することが望ましい。 | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | 「病弱教育」の対象に伴う疾患は、小児慢性特定疾病、重症心身障害、知的障害や肢体不自由に合併する病態、通常学級でみられるアレルギー疾患やてんかんなど多岐にわたり、個々の病気の程度・種類・治療経過によっても教育の場や形態が変化する。「病弱教育」は特別支援学校のみならず通常の学校でも行われており、病気の治療をしながら学校に通う子どもへの合理的配慮が不可欠な時代となっている。最近では、医療の進歩に伴い医療的ケアの必要な子どもの就学と学習保障も大きな課題であり、医療・福祉と連携した対応が必要とされている。本科目ではこれらに幅広く目を向け、教育の専門家として対応できる資質を培う。 | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <p>【期待される効果】以下の概要を理解し、説明ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病弱教育の対象や場の多様性、「合理的配慮」の実現を含む現代の制度。 2. 病弱教育の教育課程。 3. 病気の子どもや家族の生活環境や心情。 4. 各病態に応じた指導上の配慮点。 5. 医療・福祉との連携・協働における留意点と教師の役割。 | | | | | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 適宜、レポート課題及び小テストを実施します。 | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】『特別支援学校学習指導要領を踏まえた病気の子どものための教育必携』ジース教育新社、2020。</p> <p>【参考書】『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂、2018。</p> | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート課題や課題研究に真摯に取り組んだか。 2. 病弱教育に関連する法令や、キーワードが理解できたか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 4 0 %</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト・レポート・課題研究</td> <td>総合点の 6 0 %</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4 以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p> | | | | 1. 授業への積極的参加 | 総合点の 4 0 % | 2. 小テスト・レポート・課題研究 | 総合点の 6 0 % |
| 1. 授業への積極的参加 | 総合点の 4 0 % | | | | | | | |
| 2. 小テスト・レポート・課題研究 | 総合点の 6 0 % | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 病弱教育の対象は多岐に渡り、いわゆる慢性疾患のみならず、知的障害や発達障害、肢体不自由など、合併する障害も様々です。入院している子どもだけでなく、入院・治療を繰り返しながら、通常の学級に通う子どももいるため、様々な授業形態が考えられます。しかし、どの子どもも治る力、学ぶ力をもっています。笑顔で安心して通える学校を目指して、病弱教育についての理解を深めていきましょう。 | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 1 回目の講義でお知らせします。 | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | |
| 第 1 回 | オリエンテーション 病気の子どもを取り巻く現状 | 事前学習 | 「病気」とは何か、自分の考えを説明できるようにしておく。 | | | | | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | | | | | |
| 第 2 回 | 病弱教育の場と対象 | 事前学習 | Web 等で様々な形態の医療機関を調べておく。 | | | | | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | | | | | |
| 第 3 回 | 病気の子どもが教育をうけるための手続きと関係法令 | 事前学習 | 学校教育法施行令第 22 条の 3 について調べておく。 | | | | | |
| | | 事後学習 | 関係法令をノートに書き留めておく。 | | | | | |
| 第 4 回 | 学習指導要領を踏まえた指導 | 事前学習 | 特別支援学校学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部) を読んでおく。 | | | | | |
| | | 事後学習 | 「解説」の指摘部分に線を引いておく。 | | | | | |
| 第 5 回 | 個別の指導計画・個別の教育支援計画 | 事前学習 | 病弱教育の個別の指導計画について web 等で調べておく。 | | | | | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | | | | | |
| 第 6 回 | 様々な指導事例① ー特別支援学校編ー | 事前学習 | インクル DB に掲載されている病弱特別支援学校の指導事例に目を通しておく | | | | | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | | | | | |
| 第 7 回 | 様々な指導事例② ー通常の小・中学校編ー | 事前学習 | インクル DB に掲載されている通常の学校の病弱児の指導事例に目を通しておく | | | | | |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 | | | | | |

| | | | |
|------|--------------------------------|------|---|
| 第8回 | 様々な指導事例③ -訪問教育編- | 事前学習 | インクルDBに掲載されている訪問教育の指導事例に目を通しておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく。 |
| 第9回 | 病気の状態に応じた配慮 小児慢性特定実感① 白血病 | 事前学習 | NISE Health Center 病類別支援冊子「白血病」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「白血病」についての知識を整理しておく |
| 第10回 | 病気に応じた配慮 小児慢性特定実感② 糖尿病 | 事前学習 | 「NISE Health Center 病類別支援冊子「糖尿病」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「糖尿病」についての知識を整理しておく |
| 第11回 | 病気に応じた配慮 小児慢性特定疾患③ 筋ジストロフィー | 事前学習 | 「NISE Health Center 病類別支援冊子「筋ジストロフィー」を読んでおく |
| | | 事後学習 | 「筋ジストロフィー」についての知識を整理しておく |
| 第12回 | 病気に応じた配慮 重症心身障害 | 事前学習 | 「重症心身障害」について調べておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく |
| 第13回 | 病気に応じた配慮 不登校・心の病 | 事前学習 | 不登校の定義について調べておく |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り、整理しておく |
| 第14回 | ICTを活用した授業 | 事前学習 | 「ICT」の言葉の意味を調べておく |
| | | 事後学習 | 「ICT」に関連してどのような教材があるか整理しておく |
| 第15回 | まとめ | 事前学習 | これまでに配布したレジュメに目を通し、持参する |
| | | 事後学習 | レジュメを振り返り期末試験の準備をする |
| 期末試験 | | | |